

戦後の機械工学科に学んで

M②第2講座 井上理文

1. まえがき

私が入学した1950年（昭和25年）3月は太平洋戦争の傷跡が残り米軍の統治下で、政治・経済・社会は不安定、生活は闇市闇米にたよる不自由な状況であった。

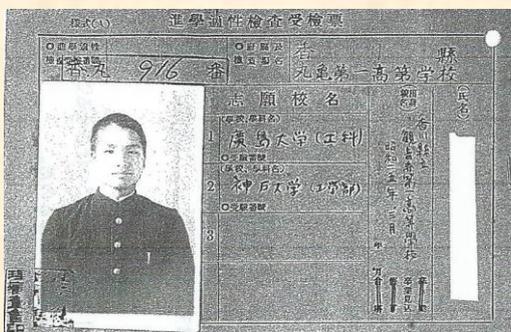
新制大学制度が発足してすぐであり、神戸大学も各学部は夫々に分散し（いわゆるタコ足制度）、学業においても、生活においても不便や不自由があふれている状況だった。

そのような状況下でも、良き師・良き友に恵まれる学生生活を送ることができたことを感謝しつつ思い出を記す。

2. 神戸大学一般教養課程

2-1. 神戸大学入試

資料①「進学適性検査受験票」



新制大学の入学試験が行われる前に全国的に進学希望者に「進学適性検査」（添付資料①「進学適性検査受験票」参照）が行われ、私は香川県観音寺から受験場の丸亀第一高校へ行き受験した。問題数が多く、○×問題もあり、全問回答する前に時間切れになったので、成績点は良くなかったと思っていた。高校の学業成績32点を記した「調査書」（資料②「香川県立観音寺第一高等学校 調査書」）

資料②「香川県観音寺第一高等学校 調査書」

川立観音寺第一高等学校学校調査書」)を添付して受験申込をした。当時は旅行先での宿泊、外食事情も悪く、たまたま姉が神戸に嫁いだため姉の家に宿泊し、神戸大学六甲学舎にて受験した。

2-2. 神戸大学入学

「受験者心得」では3月28日が合格発表で、大学より通知されることに

なっていたが（資料③「神戸大学受験者心得」）、自宅（香川県）へ通知がないので発表2日後に神戸の義兄に発表会場へ見に行ってもらった。しかし、既に発表の掲示は破れ不明のため、事務室にて照合したところ合格が判明し、電報で知らされた。その1日後、大学から郵便で合格通知「入学許可書」（資料④「入学許可書」）が到着した。当時は郵便事情も良くなかったとはいえ、入学許可書の日付は3月24日となっていたが、「受験心得」には3月28日合格発表とあり、このズレは未だに不詳である。

資料③「神戸大学受験者心得」

神戸大学 受験者心得（昭和二十五年三月）

一、学力試験及び身体検査等時間割

月日	曜日	時限	試験科目及び身体検査等
三月十一日	（土）	九時～十二時	国語、英語、算数
三月十二日	（日）	九時～十二時	国語、英語、算数
三月十三日	（月）	七時～九時	面接検査及び身体検査
三月十三日	（月）	九時～十二時	面接検査及び身体検査
三月十三日	（月）	十二時～二時	面接検査及び身体検査
三月十三日	（月）	二時～四時	面接検査及び身体検査
三月十三日	（月）	四時～六時	面接検査及び身体検査
三月十三日	（月）	六時～八時	面接検査及び身体検査
三月十三日	（月）	八時～十時	面接検査及び身体検査
三月十三日	（月）	十時～十二時	面接検査及び身体検査

（考備）
一、面接は第二検査に限り実施する。
二、レントゲン検査は身体検査の際指名せられた者に限り実施する。

一、受験者は必ず予試験の前日に受験場所へ出席し自己の試験場を確認しておくこと。
二、進學適性検査受験票を紛失した者は、進學適性検査受験票を再調製し、裏面に出身学校長の説明を受けた上、さきに願ひ出た進學適性検査の受付校に届出で、再発行を求めておくこと。
三、受験者は常に自己の受験場所の掲示場を注意すること。

一、受験者は定刻前に出席し振鈴により試験場へ入ること。
二、試験二十分以上に及ぶ者又は受験票及び進學適性検査受験票を持参しない者は受験を許可しない。
三、答案はインキ又は鉛筆で書くこと。
四、受験者は受験のため必要な器具以外のもので持つて着席してはならない。必要な用具は掲示場に明示する。携帯品はすべて試験場の指定場所に置くこと。
五、受験票及び進學適性検査受験票は机上左側に置くこと。
六、答案には必ず志望学部、科、課程名及び受験番号を所定の欄に記入すること。姓名は書いてはならない。
七、答案が出来たときはこれを裏返しして机より退場すること。但し試験開始後二十分までは退場を許さない。
八、時間が過ぎたときは答案の成否にかかわらず答案用紙を裏返し退場すること。
九、受験者で所定の日に身体検査又は面接を受けない者は返席したもののみならず。
一〇、レントゲン検査は六甲校舎で行ふ。検査を受けない者は返席したもののみならず。
一一、入学者発表は三月二十八日正午各学部で発表し且つ郵便で通知する。なを御影分校では全学部の合格者を掲示する。

以上

資料④「入学許可書」

入学許可書

機械工学科 井上 理文

右は二十五年神戸大学工学部頭書の
料に入學を許可する

昭和二十五年三月二十四日

神戸大学工学部長 城野 智郎



資料⑤「畑洋服領収書」

領収証

25年9月14日

井上 殿

千	百	拾	圓	新	銭
3	0	0	0	0	0

上記の金額正に領収致しました。

畑洋服株式会社

2-3. 御影分校と寮生活

大学より、教養課程を御影分校か姫路分校のどちらかにするかとの問い合わせがあり、神戸の姉宅に近い方で御影分校を選んだ。当時は制服が常用されており、御影町の畑洋服株式会社（指名店）で3,000円で購入した。（資料⑤「畑洋服領収証」）

資料⑥「身分証明書」



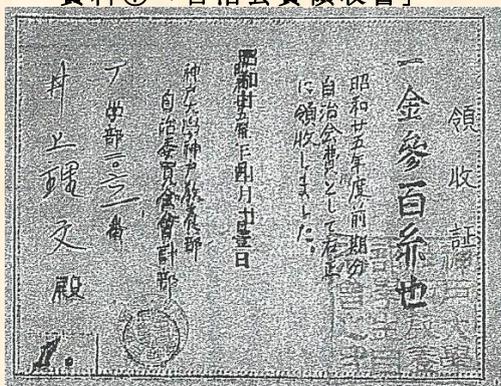
学生証ならず当時は「身分証明証」(資料⑥「身分証明書」昭和28年4月10日更新分)を交付された。兵庫師範学校(御影)の寄宿舎に入舎し、約1年半の寮生活をした。寮生は大部分が旧師範学生で、工学部は4名、他学部も数名程入寮していた。一部屋8畳敷程で4名が同居、フトンを敷いて、マクラ元へミカン箱の机を置

くと、足の踏み場もなくなった。フトンの足元側に間口半間程の2段の押し入れがあり、時には夜遅くなると下段の押し入れで勉強をすることもあった。入寮当時半年間程は食堂が閉鎖されており、食堂にあるガス、水道を使用して自炊生活をしていた。その後、食堂での朝夕の炊き出しが行われるが、食堂は使用されず、各部屋の給食当番がご飯と味噌汁をバケツで運び、各人が廊下に並べた井2ヶに夫々ご飯と汁を分配し、部屋で座って食事をとる時期もあった。自炊の米は、田舎へ帰省時にリュックに詰めて寮へ持ち帰った。国鉄豊濱駅を夕方出発し、宇高連絡船一山陽線で早朝に神戸駅に下りた。神戸駅では闇屋のかつぎやに間違われたこともあった。当時米は自由に送れなかったので、田舎からは本と偽り(駅員は知り合いで黙認してくれていたかも)国鉄の駅便で寮へ送ってもらうこともあった。

おかずは山上の寮から歩いて阪神御影駅迄下り、闇市で魚の干物等を買ったりしたが常に空腹であった。当時の体重は47~49kg(現在は68kg)で、アバラ骨が見えていた。

下宿中の同級生が時々食糧を差し入れてくれるが、ある時、肉(動物不明)を持参してくれたので、付近の畑から調達した大根、ネギで当時としては豪華なスキ焼コンパをした。美味しさに皆で大喜びをしたことは今でも忘れられないが、何の肉だったか?寮の衛生環境は非常に悪く、ハエ、蚊はいうに及ばず蚤、虱には悩まされた。共同便所のくみ取りも充分ではなく、時にはあふれた汚物をさけて便所の敷板を歩いた。従って小便は窓から放水し、2階から降ってくることもしばしばであった。

資料⑦「自治会費領収書」



寮には自治会があり、教養部の学生ストのときは寮生が動員され、教室にビラをはることもあった。自治会費は半期300円を徴集された。(資料⑦自治会費領収証)

当時授業料は半期1800円(昭和25年)(資料⑧授業料領収書)であった。奨学金の受給を申請すると、主任教授である図学の山内先生の聞きとり調査があり、奨学金の用途を質問され、授業料と本の購入に当てると返答した。学業を続けていく上で役立ち大変ありがたかった。

資料⑩「教養課程授業時間割表」

神戸大学神戸教養課程授業時間表 (1900年4月)

年次	(I) 9:00~10:40	(II) 10:50~12:30	(III) 13:30~14:50	(IV) 15:00~16:40
月(六甲)	英語 E.1 竹内 英語 E.2 浦田 英語 E.3 三宮 英語 E.4 池田 英語 E.5 井上 英語 E.6 佐野	英語 E.4 浦田 英語 E.5 三宮 英語 E.6 池田 英語 E.7 井上 英語 E.8 佐野	物理学概論 浦田 数学第(1)式凡 数学概論(1)金沢	数学第(2)金沢 数学概論(2)佐野
火(任吉)	英語 E.4 三宮 英語 E.5 浦田 英語 E.6 多田 英語 E.7 池田 英語 E.8 佐野	英語 E.5 三宮 英語 E.6 多田 英語 E.7 池田 英語 E.8 佐野 英語 E.9 伊藤	生物学概論(1)植 物理学第(1)田中 音楽実技 堀 体育実技(1)堀	生物学概論(2)植 物理学第(2)田中 物理学第(1)田中 体育実技(2)堀
水(六甲)	経済学概論 北野 国語第(1)井上	国語概論 今井 国語第(2)井上 化学第 今井	社会学概論(1)内藤 心理学概論(1)中村 数学概論(2)佐野	社会学概論(2)内藤 心理学概論(2)中村 数学第(1)堀
木(任吉)	政治学概論(1)堀 自然科學史(1)三田 体育実技(3)堀	政治学概論(2)堀 自然科學史(2)三田 西洋古典語(1)小川 植物学 池田 体育実技(4)堀	英語 E.1 浦田 英語 E.2 浦田 英語 E.3 三宮 英語 E.4 池田 英語 E.5 井上 英語 E.6 佐野 中国語 C. 高橋 国語演習(1)山内	英語 E.3 浦田 英語 E.4 池田 英語 E.5 井上 英語 E.6 佐野 英語 E.7 池田 国語演習(2)山内
金(任吉)	英語 E.1 多田 英語 E.2 池田 英語 E.3 佐野	英語 E.4 池田 英語 E.5 井上 英語 E.6 佐野	西洋史概論(1)全田 音楽概論(1)山内 体育実技(1)堀	銀行 形造実技 大塚 工業実技 砂原 西洋古典語(1)井上 西洋古典語(2)山内 体育実技(2)佐野
土(任吉)	国語演習(1)山内 哲学概論(3)清水 中国文学 余坂	国語演習(2)山内 哲学概論(4)清水 音楽概論 山内		

すぐ下で便利であったが、六甲学舎迄の山を登る（当時はバスの利用は一部学生のみだった）のはもっぱら歩け歩けであった。冬の寒さと夏の暑さは厳しいものであった。特に暑い時、六甲学舎の下手地域（現理学・農学部あたり）を登っていると米軍の進駐軍家族のしゃれたハウスが立ち並び、広い芝生で米軍の家族が優雅に暮しているのが目についた。それを横目で見ながらの通学は、みじめさと情けない気持ちが入り混じったものを感じた。

3. 神戸大学工学部 2年後期より4年に至る

3-1. 工学部専門課程

西代学舎に移り機械工学の専門教育が始まった。

機械工学実験があり、鋳物製作、セキを使っての水力実験、機械製図では天井走行クレーンをスケッチ、製図板を使ってケント紙にカラス口でのスミ入れ仕上げ等が行われたが、製図の時間で碁の勉強もした。専門課程で第1~5講座に配属されることになり、本人の希望と講座教授の認定で決定された。私は第2講座木下教授、小原助教授の機械設計、構造力学、機構学を専攻。小原助教授の指導で榊製作所で微量定量ギヤポンプの開発実験理論解析を行い（榊製作所との産学協同実験）卒業論文とした。当時の計算は計算尺が主体で、小数点以下2桁（例： $\pi=3.14$ ）迄の計算であり、それ以上は算盤か機械式計算器（タイガー計算器）が使用された。同室の宇野君は自転車のスポークの歪計算をするのにタイガー計算器を使用していた。

3-2. 工場実習

2年と3年の夏期に工場実習があり、5~6ヶ所の工場が大学側で用意され、その内の一つを選択した。

3-2-1. 2年生実習

私は国鉄鷹取工場（1900年国鉄（現JR）の蒸気機関車の製造検修工場として現山陽本線JR神戸線鷹取駅の北側にあった。2000年に100年の歴史を閉じ無くなる。現在あと地は駅前広場、小学校、住宅、病院。）で工場実習をした。実習は列車の運行部門と工場の実技部門があり、私は工場の実技で鍛造、切削、溶接等の実習を行った。実習の最後には工場構内で蒸気機関車の運転のマネ事もあり興味深かった。この時に電気機関車の実験がすでに行われており、将来

電気機関車になることを知った。

3-2-2. 工場実習

卒業後の就職を考え、松下電器産業株式会社（現パナソニック）を希望したところアイロン工場（大阪市十三）に配属された。実習内容は作業員と同じでアイロンの台板のボール盤による孔加工と旋盤による底加工であった。当時の作業は汎用機を使用しての人手によるもので、すべてのワークの取外し取付加工操作を自分で行う単純作業であった。旋盤での台板の底を切削するのに1人2台の旋盤を使用していたが、2台の旋盤のスピードが異なるため、タイミングが合わずスムーズに切削が継続できなかった。そのため、ロスタイムが出るので、2台の旋盤のスピードを同じにするよう現場責任者に提案したが、実習中は未実施であった。人使いの激しい会社だとの印象をうけた。現在はアイロン工場も洗濯器工場もなくなり住宅商業施設となっている。

4. あとがき

私は農家（香川県）の長男で、当時としては長男が農業を継ぐのが当たり前であった。神戸大学に合格しなければ農業をする心算の一発勝負で受験をした。幸いにして合格・入学が許されたのが、私の人生の第一歩を決めることとなった。

次に工学部機械工学科で卒業後の就業先の予定もあったが、アルバイト・卒業論文作成でお世話になった㈱櫻製作所に入社し今日に至る。創立直後の㈱櫻製作所を第2講座小原助教授の紹介で大学2年生の秋に紹介され、いろいろの開発・研究のアルバイトをしながら「微量定量ギヤーポンプ」の製作、研究、卒業論文を完成させ、大学を卒業できた。このことに感謝するとともに、「産学連携研究」のハシリでもあったと思う。以後60数年にわたり、中小企業ではあるが「技術の櫻」として今日あることをとても嬉しく思う。人と人との出会いと、その縁に深く感謝すると共に、神戸大学工学部機械工学科をこうして今も自慢し続けられることを誇りに思う。神戸大学工学部機械工学科のさらなる発展を心から願っている。

（ 終 ）

寄稿日：平成26年（2014年）10月8日 座01-08